

第5回ぬまづカローリング大会 新型コロナウイルス感染防止対策

令和4年9月1日

沼津市スポーツ推進委員連絡協議会

基本的留意事項（参加者・運営スタッフ共通）

- 開催日7日前からの健康観察及び行動歴を記録し、以下に該当する者は参加を辞退する
(当日書面で体調確認をする)
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、咽頭痛などの症状
 - 体調がすぐれない（倦怠感、息苦しさや呼吸困難、味覚や嗅覚の異常、疲れやすい等）
 - 新型コロナウイルス感染症陽性と判明した人との濃厚接触がある
 - 感染が疑われる人が同居家族や身近にいる
 - 政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある
 - 大会日前7日以内に緊急事態宣言発令地域またはまん延防止等重点措置適用地域に滞在歴がある
- 3つの密（密閉・密集・密接）を避ける
- スマートフォンを持っている人は接触確認アプリ「COCOA」をインストールするよう努める
- 参加者・運営スタッフに対して感染防止対策を徹底するよう事前に周知する
(参加者募集時にホームページ・申込書に掲載)
- マスクの着用（移動中、着替え時等のスポーツを行っていないときや会話をするとき）
- 大きな声での会話、応援等を慎む
- こまめな手洗い、アルコール消毒等による手指消毒を行う

(大会・イベント前後)

- 大会・イベントの前後には、感染リスクが高まる「5つの場面」を避け、移動中や移動先における感染防止のための適切な行動を常にとる
- 大会・イベントの前後でのミーティングにおいても、感染防止対策を徹底する
- 大会・イベントの前後での懇親会等の開催、参加は避ける

- 大会・イベント期間中及び大会・イベント終了後7日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者へ報告し、保健所が実施する行動履歴等の調査へ協力する

大会参加者が取り組む感染症対策について

(大会開始前)

- 申込時に配布した「参加者 体調確認票」を事前に参加者全員が記入し、大会当日受付で提出すること
- 参加者以外の来場は控えること
- 大会当日の体温測定に参加者全員が協力すること

(大会中)

- 人同士が接触しないよう なるべく留意すること
- 水分は各自で用意し、回し飲みはしないこと
- タオルの共用はしないこと
- 会場内での食事はしないこと
- 競技中でない参加チームは、コートに留まらず主催者の指示があった場所に移ること

(大会終了後)

- 速やかに帰宅し、その場に留まらないこと
- ゴミは各自で持ち帰ること
- 参加者同士で共用した道具は消毒をすること
- 万が一感染が発生した場合に備えて、大会当日の参加者氏名、連絡先を共有し、大会終了後2週間以内に感染が発覚した際には速やかにチーム責任者に報告する体制を整えておくこと
- 大会終了後7日以内にチーム内参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに沼津市スポーツ推進委員連絡協議会事務局(055-934-4875)まで報告すること

運営スタッフが取り組む感染症対策について

(大会開始前)

- 参加者及びスタッフの体調観察を実施する
- 十分な距離を保つため、運営スタッフは最小人数とする
- 会場における感染防止策について、事前に大会関係者に周知を行う
- 参加者へのアルコール等による手指消毒を実施する

- 大きな声で説明をしない
- 体育館出入口、アリーナ出入口・扉・窓等は、換気のため常時開けておく

(大会中)

- 館内の混雑を防止するため、動線上、人員を滞留させないように適切に誘導する
- 会場（受付・アリーナ・観覧席等）において、「3密」にならないようアナウンスを行う
- アルコール等による手指消毒場所を設置する（受付・アリーナ出入口等）
- 共有部分や用具の消毒を適宜行う
- 会場内での食事はしない
- 水分は各自で用意し、回し飲みはしない
- タオルの共用はしない

(大会終了後)

- 共有部分や用具の消毒を徹底する
- 片付け後、速やかに帰宅し、その場に留まらない
- 館内に立ち上がったすべての者の名簿を作成し、終了後概ね1ヵ月間保管する
- 大会終了後7日以内に運営スタッフが新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに沼津市スポーツ推進委員連絡協議会事務局(055-934-4875)まで報告する

競技における感染症対策について

- 密にならぬよう間隔を空け2レーンで開催する
- 競技中でない参加チームを2Fコートから1Fのアリーナ・休憩所等に案内する
- 競技中のチーム以外はコートに入れない
- 競技中のチームは必要最小限の人数でコートに入れる
- 試合前の練習や円陣、ベンチでの集合時において、できるだけ密集・接触を避ける
- スタッフは、競技開始前に競技道具を消毒する
- 参加者及びスタッフはジェットローラーに触れる前に手指の消毒を徹底する
- 競技中においてもマスクを着用する

中止する場合について

- 感染拡大状況等により主催者が中止を判断した際は、速やかに各チーム代表者へ連絡する